

TOKUYA TIMES

とくや
タイムズ

http://www2.sala.or.jp/~tokuya-k/

伊藤 とくや

Autumn. 2007 vol.2



マチ 豊橋を元気にする、3つの質問！

都市戦略ビジョン、都市計画ビジョン、市街地ビジョン、次世代ビジョンを問う

第2号発行のご挨拶

豊橋市議会議員定数40名。今春より新人11名が加わった先の9月議会では、ほとんどの新人が一般質問に挑戦したため、豊橋市議会一般質問としては過去最多の24名が質問することになりました。私にとって2度目の一般質問。新人とはいえ「平常心」を保ち進めたいところなのですが、今回は「3つの質問」を通告しており、回答をいただきながら時間通りに収まるか否か、緊張の登壇でした。



わがマチ《豊橋》を元気にする、3つの質問

- 1 本市における観光ビジョンについて
 - (1) 観光立国推進基本法の制定など国の動向を踏まえて、
- 2 自転車を生かした都市づくりについて
 - (1) 自転車を生かした都市計画の考え方について
 - (2) 自転車の通行環境整備促進の進捗状況について
 - (3) 自転車ルールと指導取り締まり強化の周知について
- 3 総合文化学習センター(仮称)について
 - (1) 3機能の連携に関する基本的な考え方について
 - (2) 優先整備となった芸術ホールについて
 ※事業方針・目標・計画・実施方策・集客予想・収支を問う

質問 1 豊橋市における観光ビジョン

21世紀の日本は観光立国の時代とも言われています。また、豊橋は日本の観光の中心にあります。そこで、ふたつの経緯「**ビジット・ジャパン**」「**観光立国推進基本法**」を基に、「豊橋における観光ビジョン」を質問しました。

ねらいは、「観光資源に気づこう」「観光資源を活かそう」「周辺観光地と連携を深めよう」です。豊橋には素材が一杯！

経緯その① ビジット・ジャパン・キャンペーン

愛知万博を目前に控えた平成14年6月、当時は日本人の海外旅行者が約1,600万人であるのに対して、我が国を訪れる外国人旅行者は、その3分の1以下である約500万人に過ぎないことから、その格差是正として「ビジット・ジャパン・キャンペーン」を実施。「2010年までに1,000万人の訪日外国人誘致」を目標に掲げ活動開始。2006年度は実績として、700万人にまで増加している。

経緯その② 観光立国推進基本法

観光を21世紀における日本の重要な政策の柱として明確に位置付けるもの。施策は、魅力ある観光地づくりの取組みに対する支援、ビジット・ジャパン・キャンペーンの強化など。その基本理念は将来に渡る豊かな国民生活実現のための特に重要な施策として

- 地域における創意工夫を生かした主体的な取組みを尊重
- 地域住民が地域に誇りを抱き・愛着を持ち・活力に溢れる
- 地域社会の持続可能な発展を促し、国内外からの観光旅行を促進する、としている。(平成18年12月成立)

回答 豊橋観光基本計画の活動指針を活かす

「観光資源の再評価と発掘」、「観光施設・観光関係インフラの整備」を柱として農水産業・市電・港と車・まつりという本市の特徴を生かし、集中的に取り組んでいきます。本市の周辺都市との広域観光連携を進めます。具体的には以下の事業等・・・

- 「ええじゃないか」と新生「豊橋まつり」
- 「三河伝統手筒花火」とイベント「炎の祭典」
- エコヴィレッジ構想「りすば豊橋」と「ファーマーズ・マーケット」
- 「市電新型車両」と「駅前再開発」
- 「カモメリア」と「豊橋港・三河港」

地域が自立するには産業の活力しかない

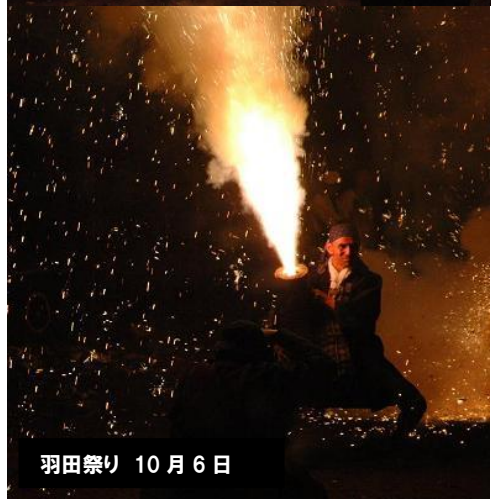
観光も重要な産業、地域に外貨を引き込む大きな役割。観光と農業のみに依存する地方都市とは異なり、確かに豊橋市は観光都市ではない。しかし、近隣の観光地との経済的結びつきは強い。

また、観光は平和・安全でなければ成立しないため、平和産業とも言われている。豊橋市は市制100周年において「平和・交流・共生の都市宣言」をした。この宣言は、まさしく本市の観光立国ならぬ観光立市宣言。豊橋の、豊かな将来にむけて、創意工夫を凝らし、地域に誇りを抱き・愛着を持ち・活力とともに持続可能な発展を促す、その舵取り役として、行政の責務は重く、そして大きい。

更に、今こそ!!! ビジット豊橋キャンペーン!



ええじゃないか
豊橋まつり



羽田祭り 10月6日





自転車歩行車道の整備が進む
「こども未来館」前にて(10月5日)

自転車安全利用5則

- ① 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- ② 車道は左側を通行
- ③ 歩道は歩行者優先で、車道よりを徐行
- ④ 安全ルールを守る
飲酒運転・二人乗・並進禁止
夜間はライトを点灯
交差点では一時停止等
- ⑤ こどもはヘルメットを着用

質問2 自転車を生かした都市造り

環境に優しく、健康にも良い自転車。維持管理費も安く、インフラ整備も容易。また、起伏が少なく平坦な豊橋市の特性を活かしたコンパクトシティを実現させるうえで自転車への期待は大きい。しかし、自動車事故の減少に対して自転車事故が増加している現状の改善は急務であるとして、去る6月改正道交法が公布された。そこで、自転車を生かしたまちづくりを進める観点から質問をしました。

ねらいはまちづくりと人づくり。法改正は、時代に合致したまちへリニューアルする好機。また、いちばんの自転車利用者であり、今回の規制対象者である中高生には、規制強化にての不満が高じて、政治への不信、政治離れに繋がって欲しくはない。むしろ中高生には、毎日使う自転車を通してまちづくりへの提案をいただき、長じては政治に関心を持ち、将来の地域の担い手になって欲しい。

「コンパクトシティ」とは、

郊外の切捨て!!!ではありません。

郊外化の進展は、交通弱者には不便。無秩序な郊外開発は、持続可能性、自然保護、環境保護の点から問題。市街の希薄化は、道路、上下水道など公共投資効率を悪化させ、財政負担が大きい。都市の郊外化・スプロール化を抑制し、市街地のスケールを小さく保ち、歩いてゆける範囲を生活圏として捉え、コミュニティの再生や住みやすいまちづくりを目指そうとするのがコンパクトシティ。公共交通とともに、自転車にスポットを当てている。

罰則が強化される!!!

改正道交法

改正道交法は、自転車利用環境の総合的整備をしますが、同時に規制強化しますという法律として来年6月20日までに施行されます(一旦停止無視5万円、片手運転5万円、並列走行2万円、酒酔い運転100万円等)。特に懸念するのは心身ともに成長の過渡期の存在であり、マナーの悪さとともに批判対象である中高生です。

回答

■「豊橋市都市計画マスタープラン」に則り、自転車の利用しやすい環境の整備、高齢社会への対応、生活環境向上のため、安全で快適に通行できる歩行空間整備を進めます。■縦割り行政を超えて、文化市民部、建設部、都市計画部を主体にした交通安全対策検討会を設置して進めます。■交通事故の多い箇所、事故の原因等を、安全性とともに調査開始。通勤、通学時の自転車交通量調査、豊橋警察署、学校関係者、自治会、老人会、国、県の道路管理者などとも十分協議します。■交通障害の撤去とインフラ整備は、協議して推進します。■自転車歩行車道、路面表示等で通行区分の明確化をすすめる「こども未来館」前では目で見て実践する教材として活かします。■サインや走路の段差解消など、ユニバーサルデザインに配慮した通行環境に取り組みます。**御意見募集中**

質問3 総合文化学習センター(仮称)

現在再開発が進んでいる豊橋中心市街地。駅前プロジェクトの仕上げともいえる総合文化学習センター(仮称)は平成24年開館を予定していますが、平成17年に基本計画後に大きな環境の変化がありました。

① 企画の前提条件「アイプラザ豊橋」(1500席)の存廃問題。

当初は、「生涯学習センター(市民大学)」「図書館」「芸術ホール」の3つの施設が、相互に魅力を相乗する計画でしたが、

② 予算を理由とした「芸術ホールのみ優先整備される本事業」です。

そこで、総合文化学習センター(仮称)の基本的な考え方とともに、優先整備となった芸術ホールについての(ア)事業方針・目標・計画(イ)実施方策(ウ)集客予想(エ)収支について質問しました。

さらに、①事業方針としての経営目標の観点からプロデュース機能の充実に関して、芸術監督について、②地域の活性化と地域文化の振興の観点から芸術ホールの付帯機能の充実について及び文化振興における協働について質問しました。

編集後記

伊藤とくやは皆様のご理解を頂戴し、「1年間は勉強」として現在は無所属の市議会議員として活動させていただいています。

さて、いよいよ12月は次年度予算を決める月、今後の活動を地域に活かすためにも、会派への所属を考えねばならない時期が年明けから始まります。

ねらいは、豊橋市民が誇れる《総合文化学習センター》を造ること!!! 市民が芸術劇場の「パトロン」になる勇氣

「埼玉芸術劇場」は、駅前立地、演劇主体800席の芸術ホール。世界的舞台演出家蜷川幸雄氏が芸術監督として存在し、日本中から観客を集める作品群を揃えるとともに、監督を慕うボランティアが運営コストを下げ、入場稼働率を上げ、スポンサーを集めるといった状況や、企画制作に関わる職員が、エージェントに頼らず直接企画を仕入れる、インキュベーションとしての文化事業展開、演者として、2番手や若手を登用する、練習施設の充実を図る、55歳以上の演劇集団「さいたまゴールドシアター」、小中学校へ一流の芸術家を派遣するアウトリーチ事業、一流のダンサーが指導するワークショップなどの取り組みを確認した。

回答 現在総合文化学習センターはPFI事業(公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法)の可能性を含め検討中である。目的は、多様なニーズに応え、従来の行政の枠にとらわれない柔軟かつ専門性の高い運営手法にて、質の高い優れた舞台芸術作品等を提供する、企業経営体としてマネジメント、積極的な営業活動、コストダウンなどについて検討を進めてはいるが**市民のための市民が欲する劇場成るか成らざるか正にこれからが正念場**■豊橋の真価を問う課題に注目を

ご案内

10月30日松葉町2丁目カオンプビル、11月6日中部地区市民館にて、いずれも午後7時から市制報告会を開催します。是非お越し下さい。

発行:伊藤とくや事務所
豊橋市松葉町 3-70
TEL: 0532-57-4192
FAX: 0532-56-5521
bbito@mx1.tees.ne.jp